

令和5年度 学校評価アンケート 結果及び考察

- 調査対象 1～6年児童 780名
 本校教職員 43名
 本校保護者 585名
- 調査期日 令和6年1月
- 調査方法 GoogleフォームによるWeb回答
- その他 問いの【職】は教職員用、【保】は保護者用、【児】は児童用の問い方を示している。

学校評価アンケート結果

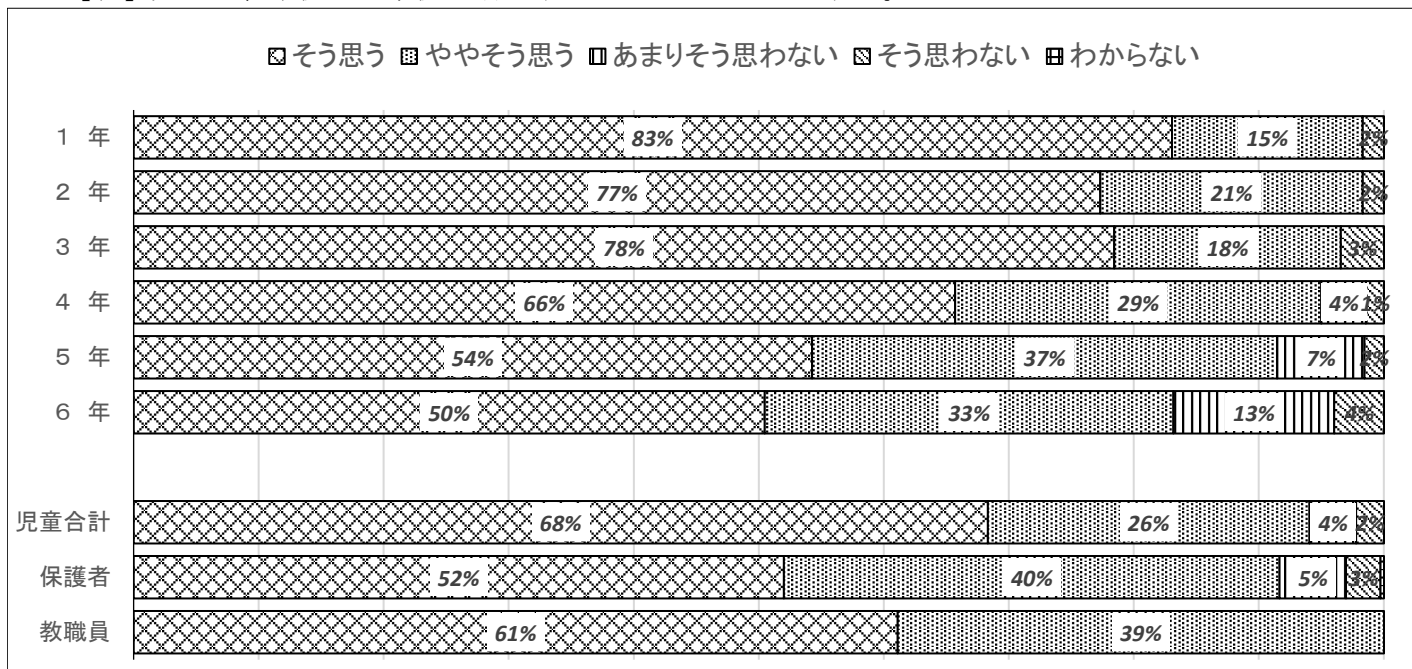
学校生活全般			
1	【楽しい学校生活】	1 ページ
2	【挨拶】	1 ページ
3	【規範意識】	2 ページ
4	【清掃活動・校内美化】	2 ページ
5	【給食】	3 ページ
6	【係活動・委員会活動等の取組】	3 ページ
学習活動			
7	【主体的な学び】	4 ページ
8	【基礎学力の定着】	4 ページ
9	【学びの質を高める授業】	5 ページ
10	【授業への集中】	5 ページ
11	【読書活動】	5 ページ
12	【家庭学習の取組】	6 ページ
安心・安全な学校			
13	【自他の尊重・生命の尊重】	6 ページ
14	【いじめのない学校】	7 ページ
15	【教員による相談対応】	7 ページ
16	【相談相手の有無】	7 ページ
17	【公平な児童の評価】	8 ページ
18	【適切な児童の評価】	8 ページ
19	【安全確保・安全対策】	8 ページ
20	【感染症対策】	8 ページ
学校運営・教職員			
21	【教育目標の理解】	9 ページ
22	【研究主題達成への取組】	9 ページ
23	【外国語活動・ICT教育への取組】	9 ページ
24	【自己研修】	9 ページ
25	【生徒指導方針の実行】	10 ページ
26	【学校教育の情報発信】	10 ページ
27	【学校発出案内文書等】	10 ページ
家庭・地域			
28	【登下校での挨拶】	10 ページ
29	【安全な登下校】	11 ページ
30	【家庭での会話】	11 ページ
31	【保護者の関わり】	11 ページ
学校評価アンケート考察		11 ページ

学校評価アンケート結果

学校生活全般

【楽しい学校生活】

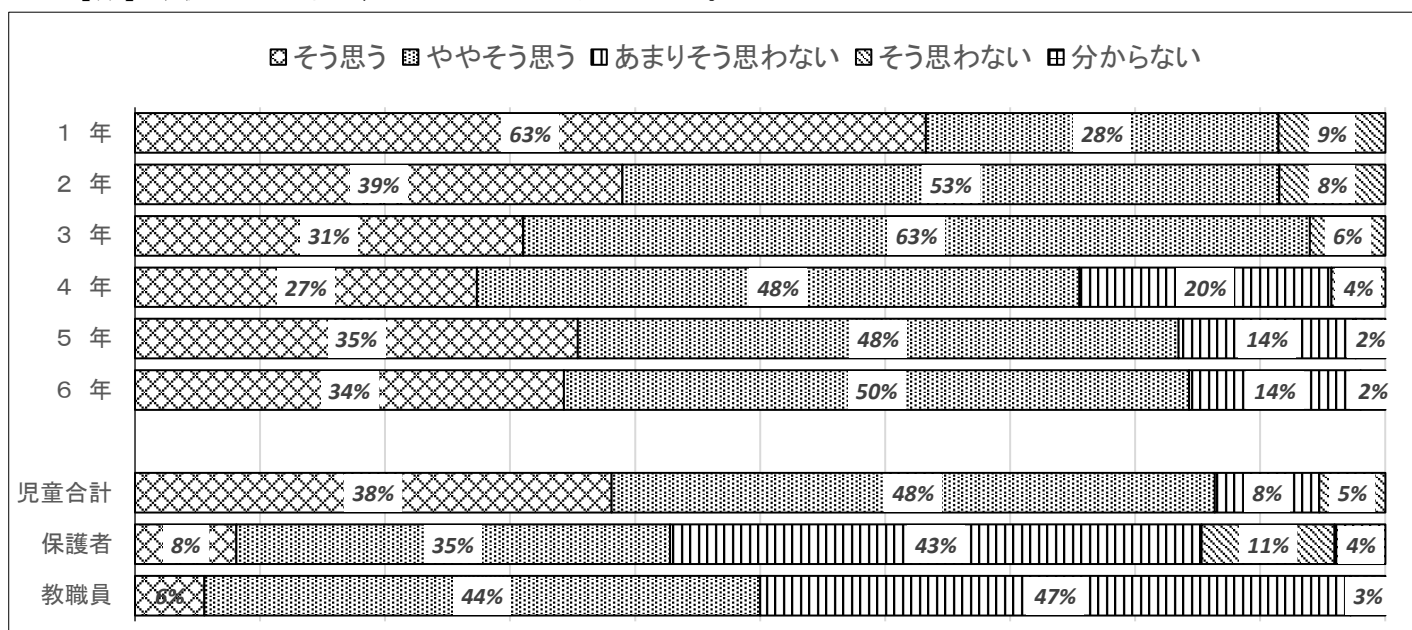
- 1 【児】あなたは、学校生活が楽しいですか。
 【保】子どもは、学校へ楽しく通っている。
 【職】児童は、本校での学校生活を楽しんでいると思いますか。



ほとんどの児童が学校生活が楽しいと感じており、保護者も楽しく通っていると認識している。ただ、学年が上がるにつれて「そう思う」「ややそう思う」と回答する児童が減っている。どの学年の児童にとっても自分の居場所があり、安心して楽しく学校生活を送れるように、これからも指導や関わりの工夫を続けたい。

【挨拶】

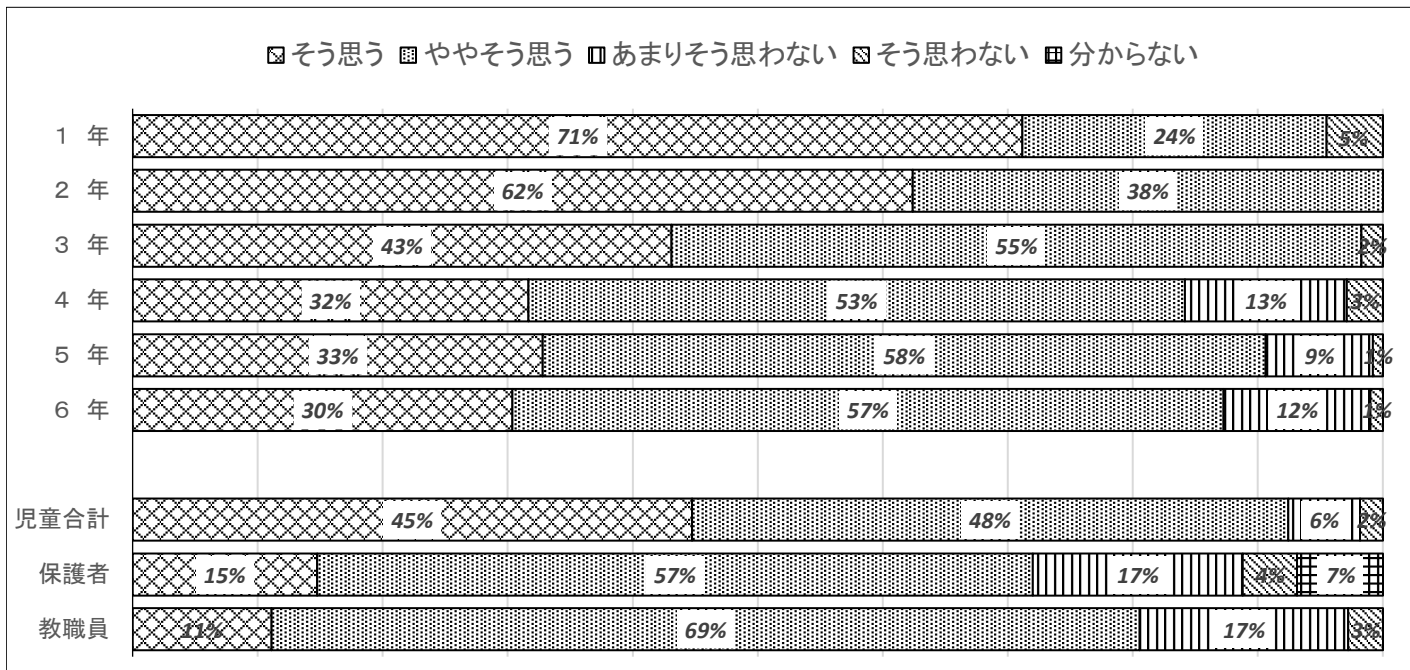
- 2 【児】あなたは、先生や友達にあいさつをよくしていますか。（低）
 【児】あなたは、家族や先生、友達へのあいさつはよくできていますか。（高）
 【職】児童は、教職員や友達、来校者などにあいさつをよくしていると思いますか。
 【保】本校の子どもは、あいさつをよくしている。



学年が上がるにつれて「そう思う」と回答する割合が低いものの、児童全体では「そう思う」「ややそう思う」を合わせると8割を超えている。ただ、アンケート結果から保護者や教職員の目には、児童がしっかりあいさつできていないと感じているのが分かる。これまでも週目標等で挨拶指導を続けてきたが、今後も折に触れて挨拶のモデルを子どもたちに具体的に示すなどして、実行に移していけるように取組を続けていきたい。

【規範意識】

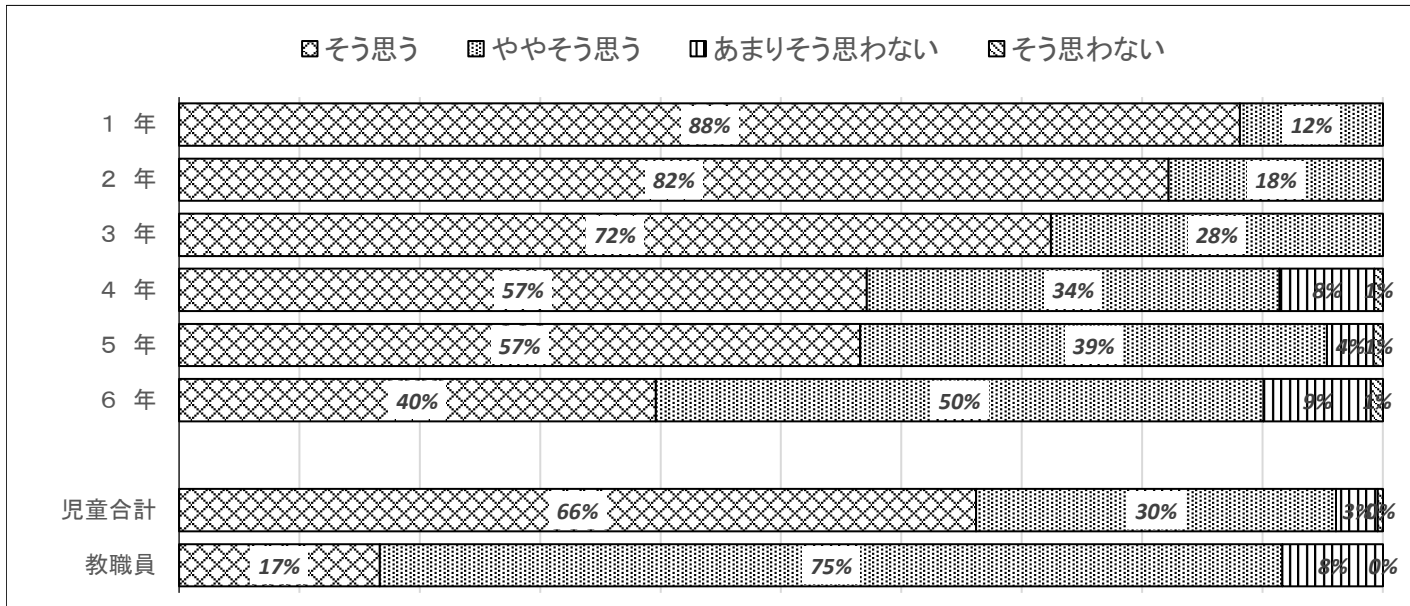
- 3 【児】あなたは、学校のきまりや約束を守って、生活できていますか。（低）
 【児】あなたは、学校のきまりや約束を守って、生活することができますか。（高）
 【保】本校は、きまり等が守られ、秩序ある学校になっている。
 【職】児童は、学校のきまりや約束を守って生活していると思いますか。



県全体でも規範意識の低さが指摘されている。2割の教職員が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答しており、改善に向けて取り組まなければならない課題であると感じている。服装面やトイレの使い方、交通ルールなど、課題は多岐にわたるが、根気強い取組を続けていきたい。

【清掃活動・校内美化】

- 4 【児】あなたは、先生やみんなと学校をきれいにしようとしていますか。
 【職】校内の環境美化に積極的に取り組んでいますか。

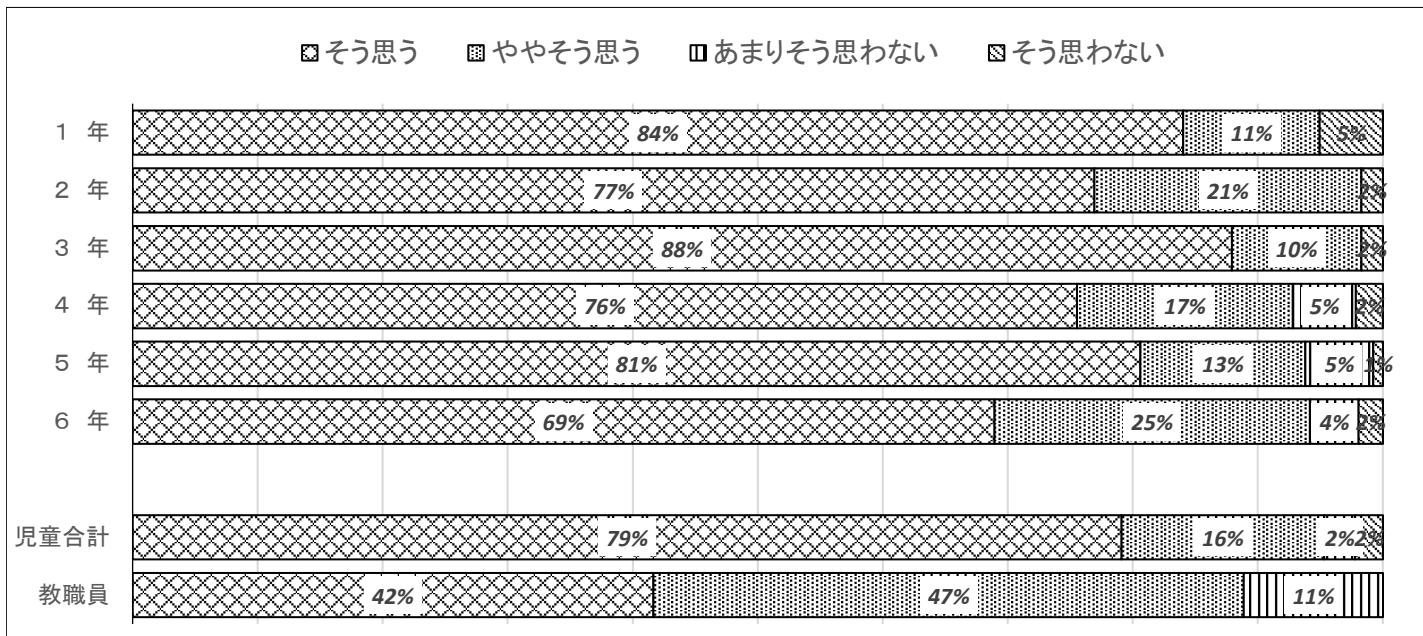


学年が上がるにつれて「そう思う」「ややそう思う」の割合が低くなるものの、児童全体で9割以上が肯定的な回答をしており、清掃活動にしっかり取り組むことができているといえる。掃除用具の点検や、掃除分担を検討し、今後も気持ちよく清掃ができるように環境を整えていきたい。

【給食】

5 【児】あなたは、給食を残さず食べるようにがんばっていますか。

【職】児童は、給食を残さず食べるよう努力していますか。



ほとんどの児童が給食を残さず食べようとしていることが分かる。単に残食を減らすのではなく、食への関心を高めたり、食を通じた地域理解を促したり、食育の観点からも指導をしていきたい

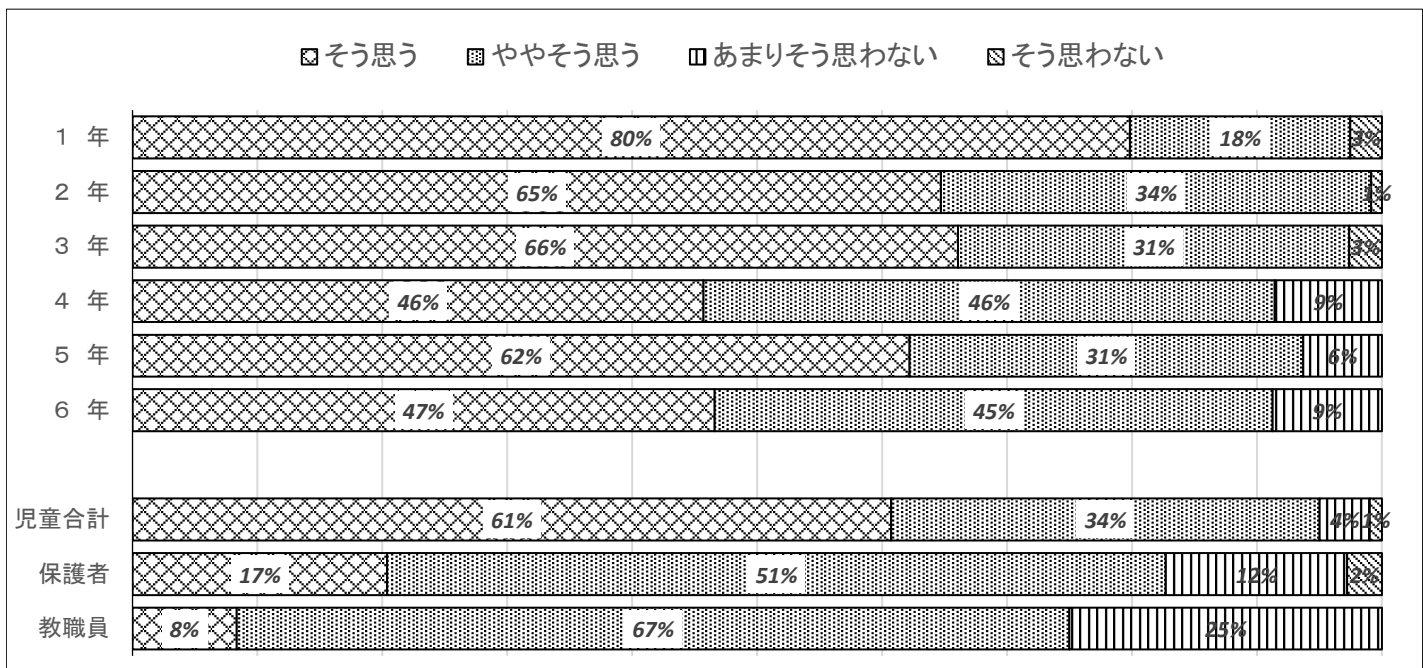
【係活動・委員会活動等の取組】

6 【児】あなたは、委員会活動・学級の係活動や当番の仕事に進んで取り組んでいますか。

【児】あなたは、学級の係や当番の仕事を進んでしていますか。

【保】係活動や児童会活動は充実している。

【職】係活動や児童会活動は充実していると思いますか。

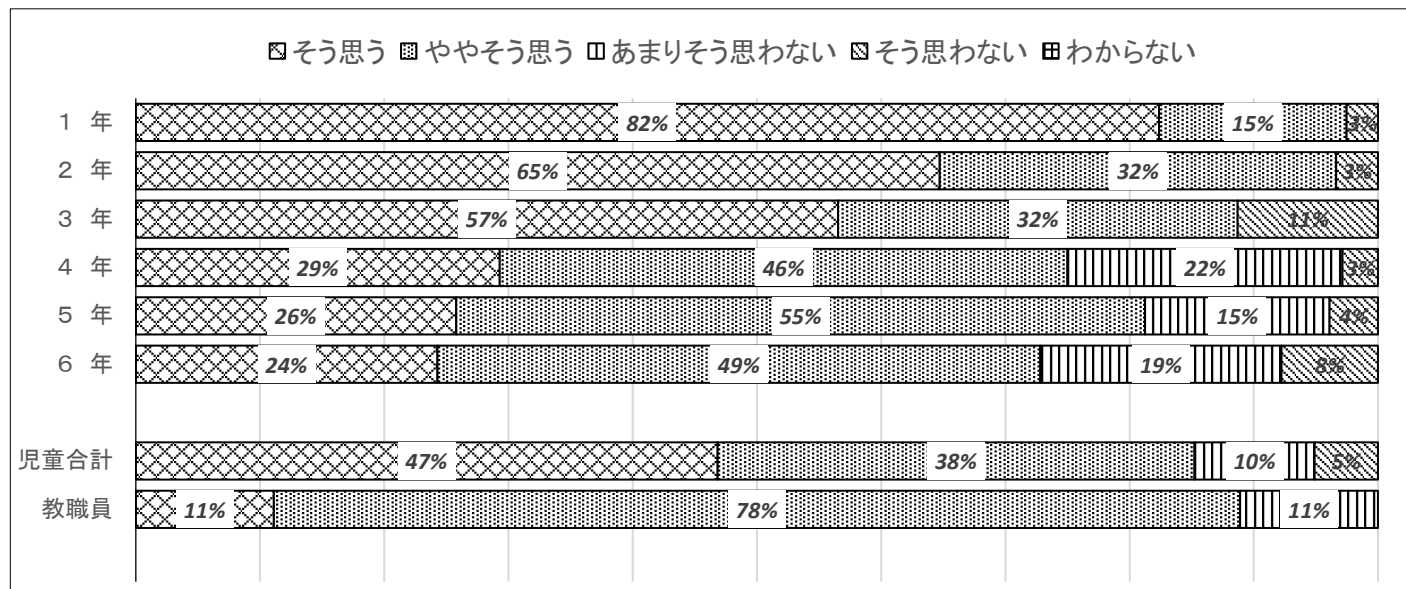


コロナウイルス感染拡大防止による活動制限が徐々に緩和され、委員会において高学年児童が活動する機会が増えた。学級の係活動も児童の自主性を大切にした活動を行えるようになってきた。与えられた役割を果たすだけでなく、主体的に活動する場をこれからも大切にしていきたい。

学習活動

【主体的な学び】

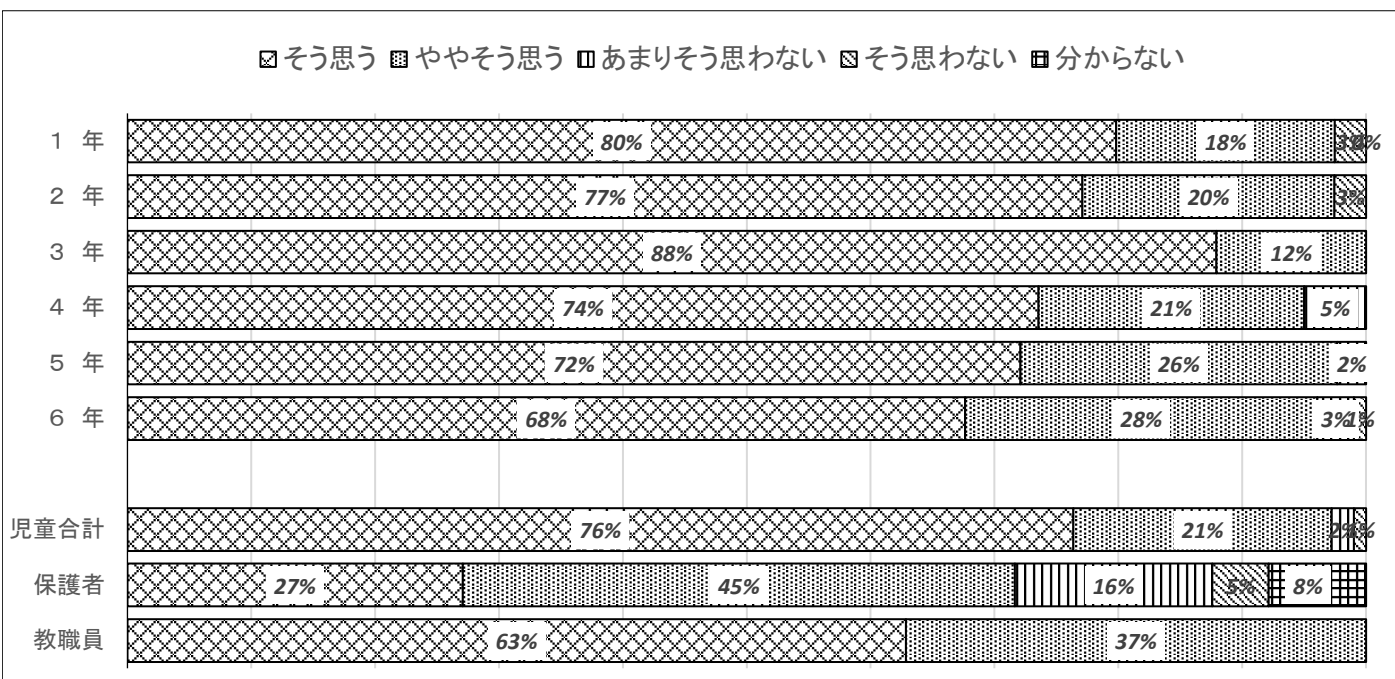
- 7 【児】あなたは、めあてをもって勉強しようとしていますか。（低）
 【児】あなたは、自分からいろいろなことに対して、めあてをもって学ぼうとしていますか。（高）
 【職】児童は、主体的・意欲的に学んでいると思いますか。



8割を超える児童が「そう思う」「ややそう思う」と答えているが、「あまりそう思わない」と答える児童も一定数いる。教職員が自ら学び続ける姿勢をもち、授業研究や日頃の教材研究を一層充実させ、児童に興味関心を醸成し、主体的に取り組める授業をつくっていきたい。

【基礎学力の定着】

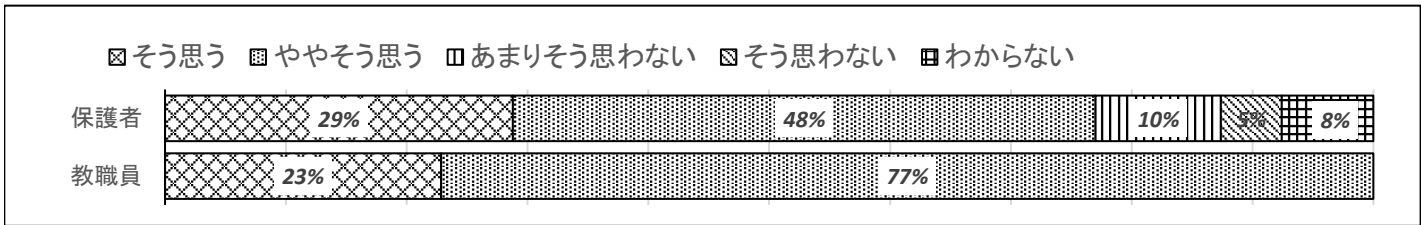
- 8 【児】先生の授業は、分かりやすいですか。
 【保】子どもは、授業が分かりやすいと言っている。
 【職】基礎学力をきちんと付けるように努めていますか。



児童は、「そう思う」「ややそう思う」と回答している割合が9割を超えている。また、教職員のほとんどが学力の定着を目指す指導を心がけていると回答している。ただ、昨年と比べると保護者の肯定的な回答が6ポイント減り、否定的な回答が8ポイント増えており、保護者の厳しい目が注がれていることが分かる。今後一層、子どもたちに「分かる授業」を提供できるよう、「学び続ける教員」を目指していく。

【学びの質を高める授業】

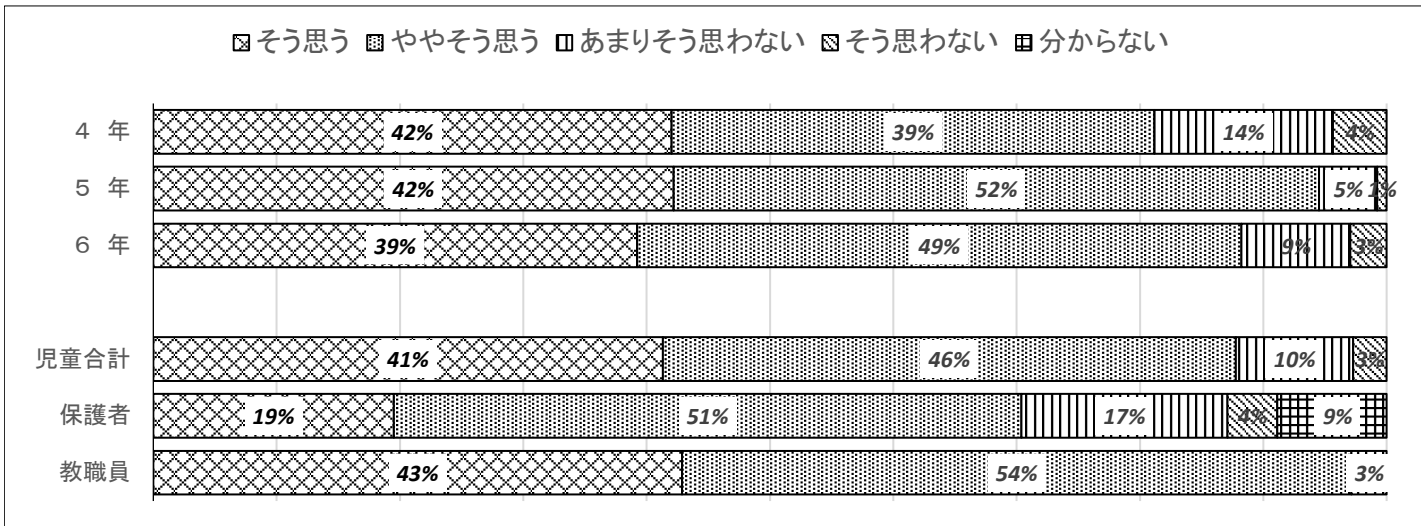
- 9 【保】本校の教職員は、子どもの興味・関心・意欲を高めるよう授業の工夫をしている。
 【職】教材や教え方を工夫して児童が意欲的に取り組む授業をしていますか。



教職員はほとんどが肯定的な回答をしている。一方、昨年度と比べると保護者の肯定的な回答が6ポイント減り、否定的な回答が9ポイント増えている。授業の導入、展開、授業形態、ICTの活用等を工夫して、児童の興味・関心・意欲を高めるよう授業を行っていききたい。

【授業への集中】

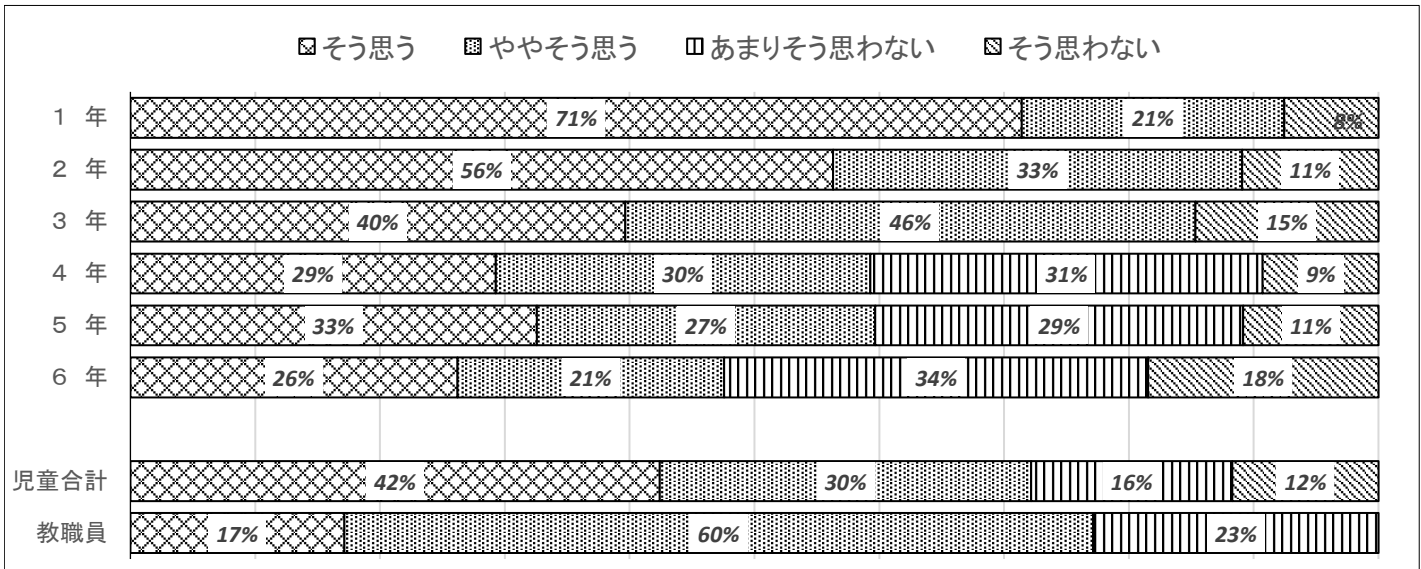
- 10 【児】あなたは、先生の話聞いて、授業に集中していますか。
 【保】本校の子どもは、授業中、集中して取り組んでいる。
 【職】授業中の児童の態度について指導できていますか。



9割近い児童は肯定的な回答をしている。ただ昨年度と比べると保護者の肯定的な回答が7ポイント減り、否定的な回答が8ポイント増えている。学習に関わっても保護者の厳しい目が注がれていることが分かる。学習規律は授業の土台である。今後も学習規律の確立や授業改善を繰り返し、授業に集中できる学習環境を整えていききたい。

【読書活動】

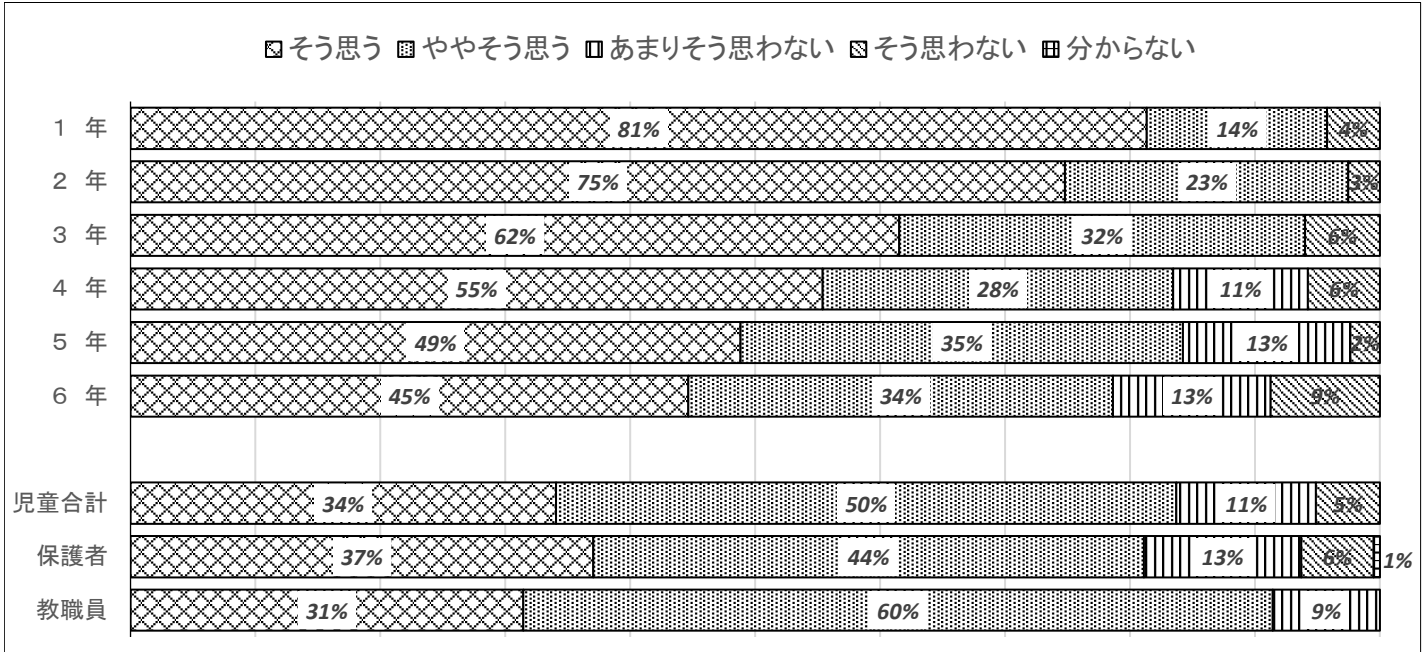
- 11 【児】あなたは、自分から進んでいろいろな本を読んでいますか。（低）
 【児】あなたは、自分から進んで読書に取り組んでいますか。（高）
 【職】読書活動を積極的に推進していますか。



学年が上がるにしたがって、否定的な回答が増えている。学校では朝の読書タイムを設けるなど本に親しむ取り組みをしているが、今後は発達段階に応じた本に親しむための指導が求められるといえる。教員はもちろん、司書教諭と図書館スタッフ等が協力しながら、さらに読書活動の充実を推し進めていきたい。

【家庭学習の取組】

- 12 【児】あなたは、家で宿題やその他の勉強をしていますか。（低）
 【児】あなたは、家庭で宿題や自分で決めた勉強をしていますか。（高）
 【保】子どもは、家で宿題や自分の決めた勉強をしている。
 【職】計画的に家庭学習ができるように手段を講じていますか。

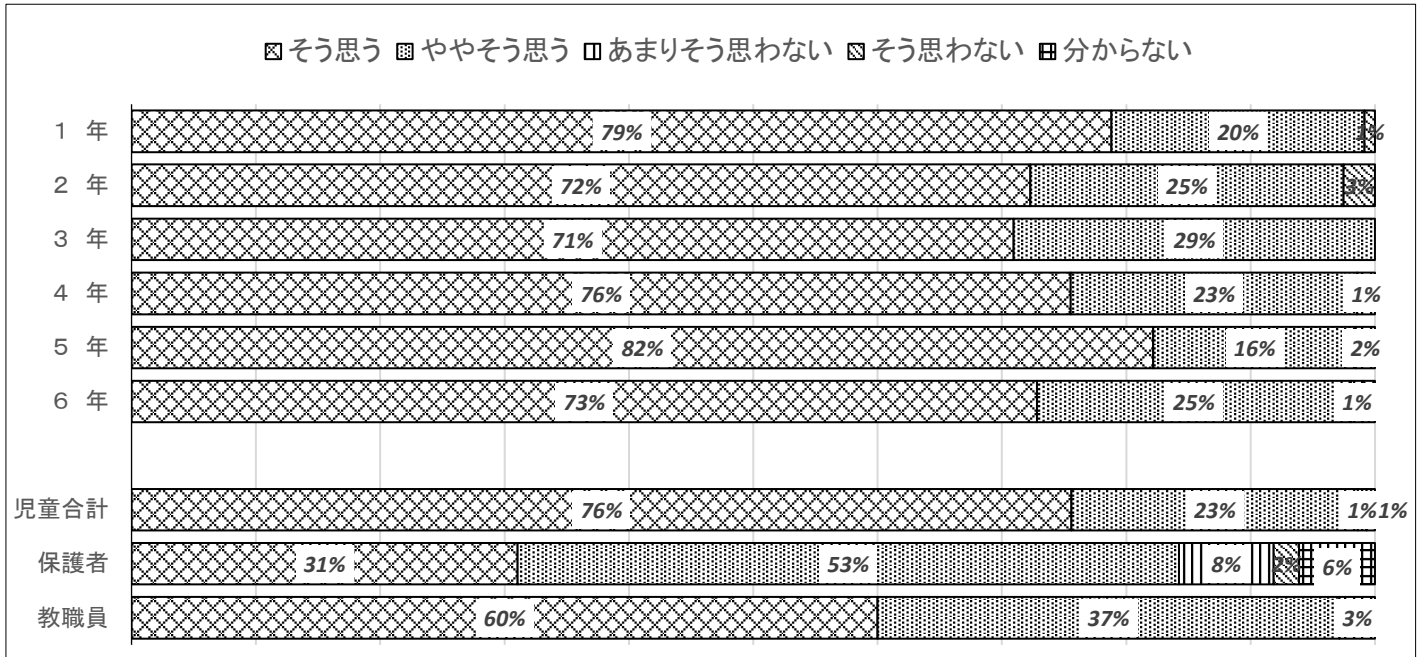


全体では、8割を超える児童が「そう思う」「ややそう思う」と答えており、概ね家庭学習が定着してきていると考えられる。しかし、児童・保護者とも「そう思わない」「あまりそう思わない」との回答も一定数存在する。課題の与え方や量、意識の向上等を工夫して、子ども自ら進んで学習を進めることができよう働きかけを続けていきたい。

安心・安全な学校

【自他の尊重・生命の尊重】

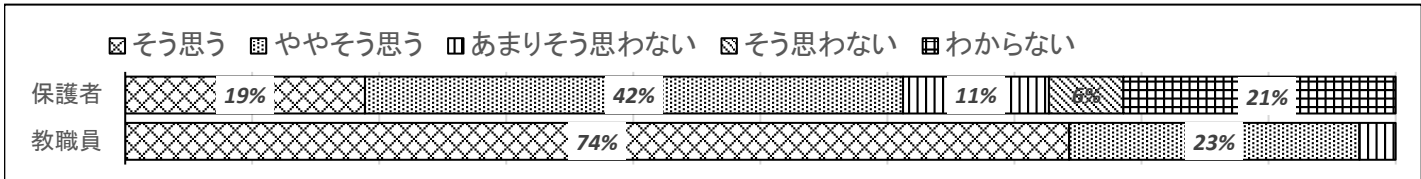
- 13 【児】あなたは、友達にやさしくしていますか。（低）
 【児】あなたは、友達を大切にしていますか。（高）
 【保】子どもは、本校で人権の大切さや命の大切さを学んでいる。
 【職】生命や人権の大切さについてきちんと教えていますか。



ほとんどの児童が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。また、保護者にも概ね理解を得られているといえる。今後も、道徳や人権教育の推進はもちろんのこと、全ての教育活動の中で自他の生命を尊重する教育をさらに充実させていく必要がある。

【いじめのない学校】

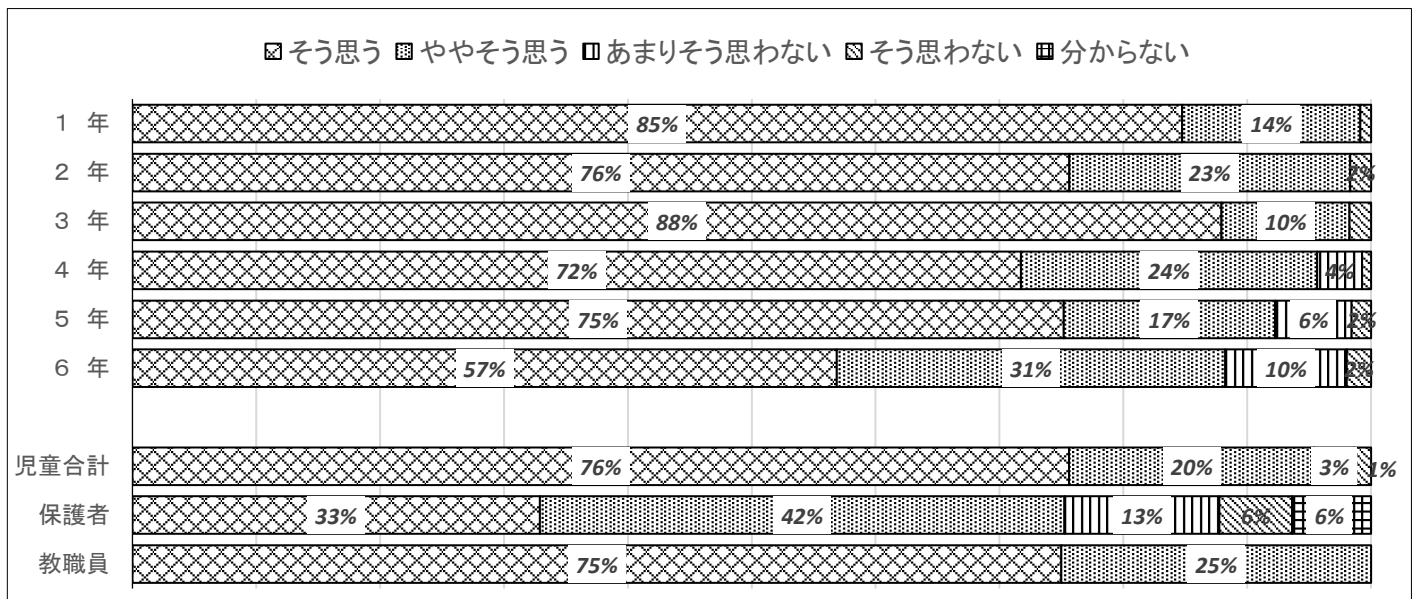
- 14 【保】本校は、いじめのない楽しい学校・学級づくりに努めている。
 【職】いじめなどのない楽しい学校・学級づくりに努めていますか。



「いじめ」は、教職員にとっても保護者にとっても関心の高い事案である。これまで教職員一人一人がアンテナを高くして情報把握に努め、得られた情報を共有し、「いじめ」のない学級経営に邁進してきた。しかし、昨年度と比べると保護者の肯定的な回答は10ポイント減り、否定的な回答は6ポイント増えている。いじめの防止は本町の基本方針も策定されている。先生に相談しやすい関係を築くとともに、アンケートを活用するなどして、いじめのない楽しい学校づくりにより一層努めたい。

【教員による相談対応】

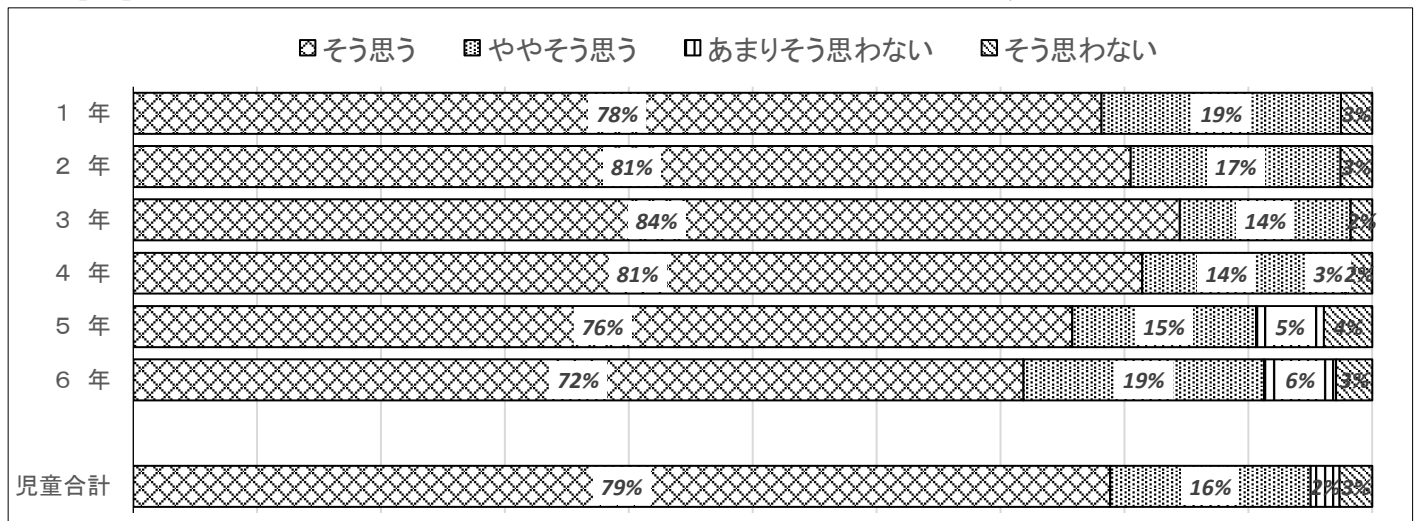
- 15 【児】先生は、みなさんが困ったときに話を聞いてくれますか。(低)
 【児】先生は、みなさんが困ったときに話をきちんと聞いてくれますか。(高)
 【保】本校の教職員は、子どもや保護者の相談を親身になって応じている。
 【職】児童や保護者からの相談に積極的に応じていますか。



児童のほとんどは肯定的な回答をしており、教員も同様である。しかしアンケート結果からは、教職員と保護者の認識に差があることが分かる(昨年度と比べても保護者の肯定的な回答は10ポイント減り、否定的な回答は10ポイント増えている)。様々な事象に最初に対応するのは学級担任だが、今後ともチームで対応していきたい。

【相談相手の有無】

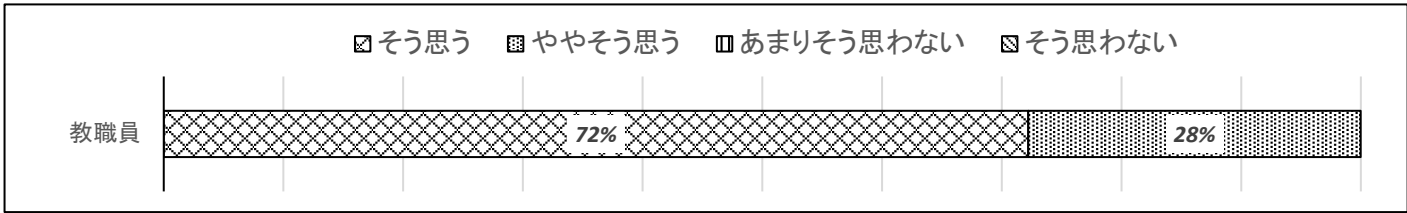
- 16 【児】みなさんに困ったことがあったとき、相談する人(先生や友達や家族など)がいますか。



どの学年も、相談する相手がいないと回答している児童が一定数存在する。まずは教員が児童との信頼関係を築き、良き相談相手になりたい。また、子ども同士の関係を良好なものにする働きかけを続けたい。

【公平な児童の評価】

17 【職】 児童を公平に評価していますか。

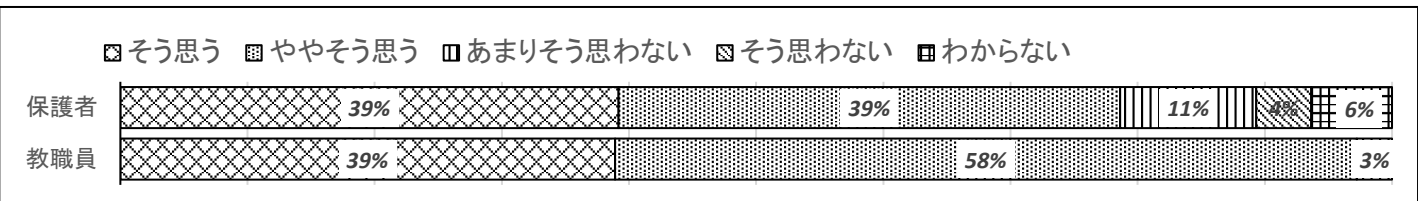


教職員同士が日頃の職員室での会話を通して、児童を多角的多面的に見るように努めてきた。職員会議でも児童の実態を交流する時間をとるようにした。今後も一人一人の児童にあった言葉がけや自尊感情の向上、友達関係のとらえ直し等、指導や評価方法を絶えず研修していく必要がある。

【適切な児童の評価】

18 【保】 本校の教職員は、子どもが努力したことを認めてくれている。

【職】 児童の思いや行動等を、よく理解していると思いますか。

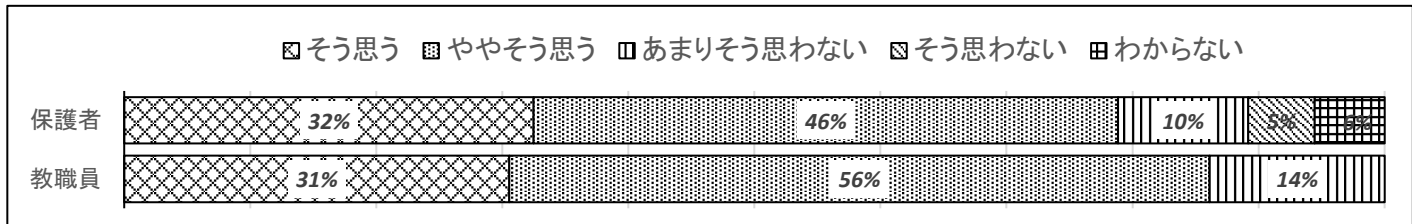


我々教員が最も大切にしたいアンケート項目の1つであり、教員はほとんどが肯定的な回答となっている。しかし保護者の回答では、肯定的な回答が10ポイント減り、否定的な回答が8ポイント増えている。個に応じた指導を継続し、保護者、教員とも肯定的な回答が100%になるように努力したい。

【安全確保・安全対策】

19 【保】 本校は、子どもの安全確保や安全対策に様々な配慮を行っている。

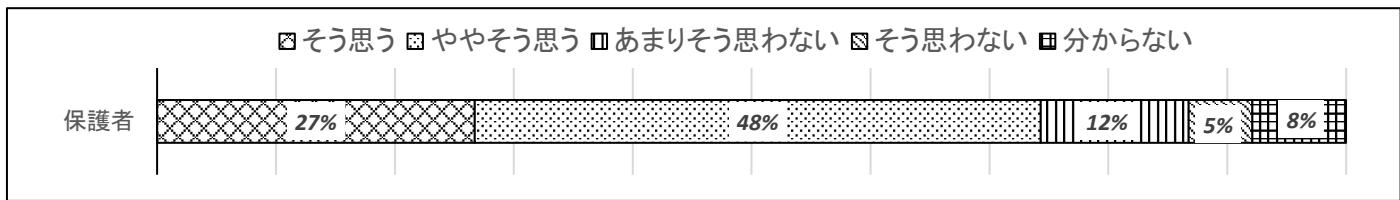
【職】 本校は、児童の安全確保や安全対策に様々な配慮を行っていると思いますか。



コロナウイルス感染拡大防止による活動制限が緩和されたため、全校児童による避難訓練を実施することができた。本年度もPTAで通学路における危険箇所の点検などをしていただいている。通学路の変更も含め、本校は校区も広く、学校の力だけでは難しい。地域のかもお借りしながら安全対策には万全を期していきたい。

【感染症対策】

20 【保】 本校は、感染症予防や、熱中症対策に力を入れている。

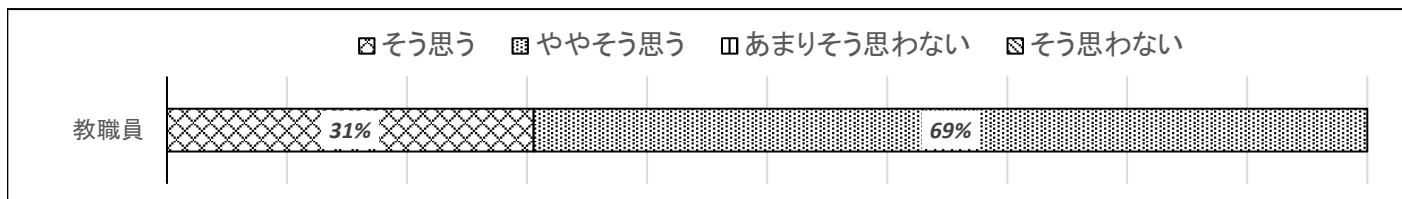


コロナウイルス感染症拡大防止の制限が緩和されたことに対する懸念もあるのか、昨年度に比べて保護者の肯定的な回答は8ポイント減り、否定的な回答は4ポイント増えた。児童のダイナミックな活動は確保しながら、感染症予防や熱中症対策等を講じていることを保護者に発信するなど、今後も努力を続けていきたい。

学校運営・教職員

【教育目標の理解】

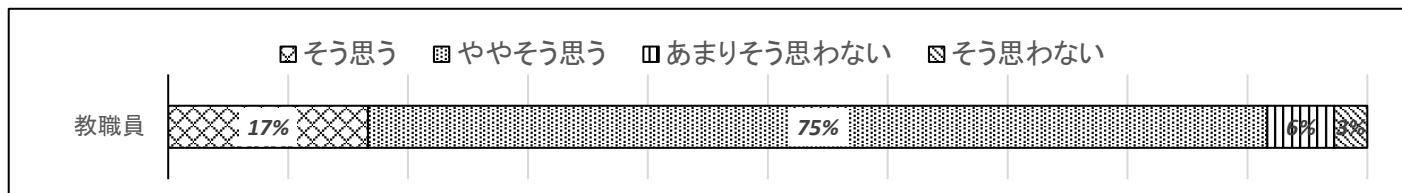
21 【職】あなたは、本校の教育方針（教育目標など）を理解していますか。



学校教育方針は、知・徳・体の調和のとれた子どもを育成するための指針であり、教職員が同じベクトルで職務に当たるために必要不可欠なものである。今年度は「そう思う」「ややそう思う」の回答が100%となり、昨年度と比べて大きく改善した。学校教育方針の理解が全ての教職員に図られていることは価値あることである。教育方針の実現に教職員が一丸となって努力したい。

【研究主題達成への取組】

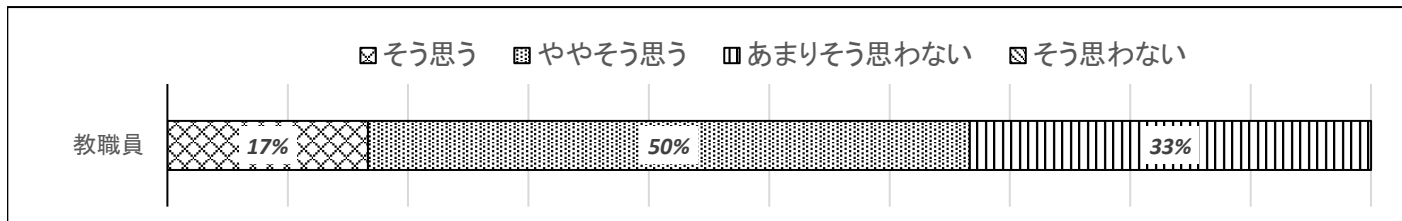
22 【職】本校は、研究主題を踏まえ、その達成に向けた教育活動に取り組んでいますか。



ほとんどの教職員が「そう思う」「ややそう思う」と答えている。昨年度は奈良県理科教育研究会の会場校として、奈良県内の先生方に授業を公開した。今年度は、研究主題「対話を通して、主体的に学習しようとする児童の育成」を継続し、理科以外の教科についても、公開授業を核に据えた研修を行った。足掛け3年にわたり、研修部を中心として、学校全体を巻き込んだ研修を推し進めることができた。

【外国語活動・ICT教育への取組】

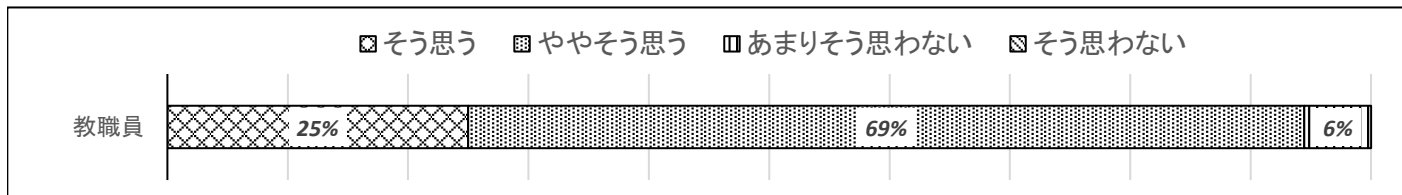
23 【職】本校は、外国語活動・ICT(プログラミング教育)の授業に積極的に取り組んでいると思いますか。



昨年度と比べて肯定的な回答が10ポイント増え、否定的な回答が9ポイント減った。外国語活動及び外国語の指導について、教員が自信をもって行えるようになってきた表れと考える。また、ICTについては年間計画を立案し学校として取り組むべき事柄を整理した。研修を通してクロームブックの効果的な活用もできつつある。

【自己研修】

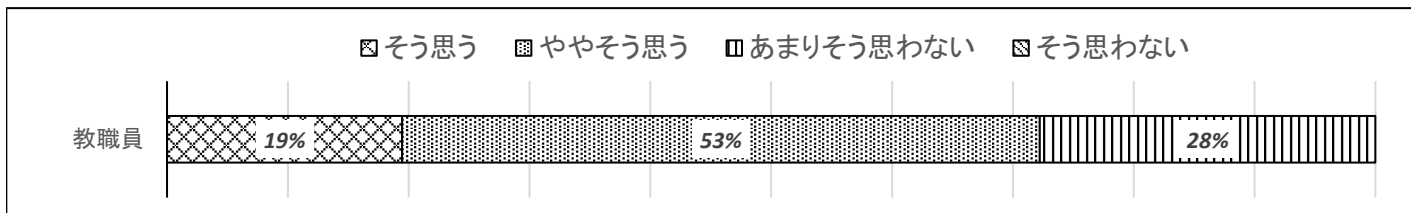
24 【職】指導の効果を上げるために研修に励んでいますか。



これからの社会の変化は、これまで経験したことのないような速さで、かつ大きなものとなるとされている。そうした社会においては、「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」に的確かつ迅速に対応していく力が求められる。そのためには教師自身が学び続けることが大切である。今後も校内研修をより一層充実させると共に、積極的研修講座への参加をするなど、学び続ける姿勢を大切にしていきたい。

【生徒指導方針の実行】

25 【職】 どの教職員も、同じ方針で生徒指導をしていると思いますか。



生徒指導において大切なことは、ぶれのない指導(教職員による共通認識、共通行動)である。風通しのよい職場環境を築き、職員同士が認識をすり合わせ、同じ指導を行えるように今後も心がけていきたい。また、子どもたちの個性は多種多様であり、保護者の思いも様々であるため、個別の対応も同時に大切にしていきたい。

【学校教育の情報発信】

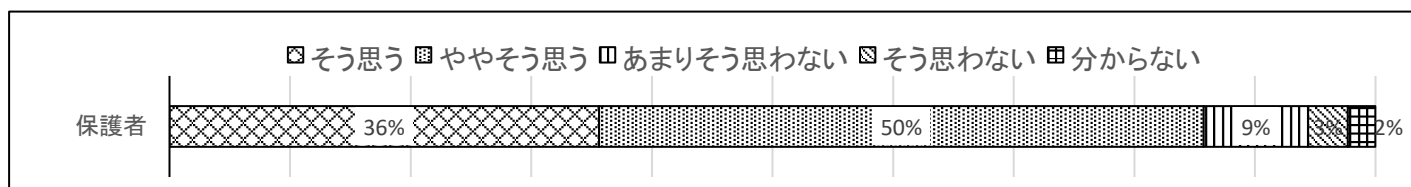
26 【保】 本校は、学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを通して、学校の様子を積極的に伝えている。



今年度は学校HPを開設したが、昨年度と比べて保護者の肯定的な回答は12ポイント減り、否定的な回答は12ポイント増えた。保護者に最新の情報を発信していくことは、学校を理解していただくことにつながる。「学校だより」「学年だより」を通して、学校の様子を具体的に伝えられるような工夫をしていきたい。

【学校発出案内文書等】

27 【保】 本校が保護者に出す文書や事務連絡は、適切である。

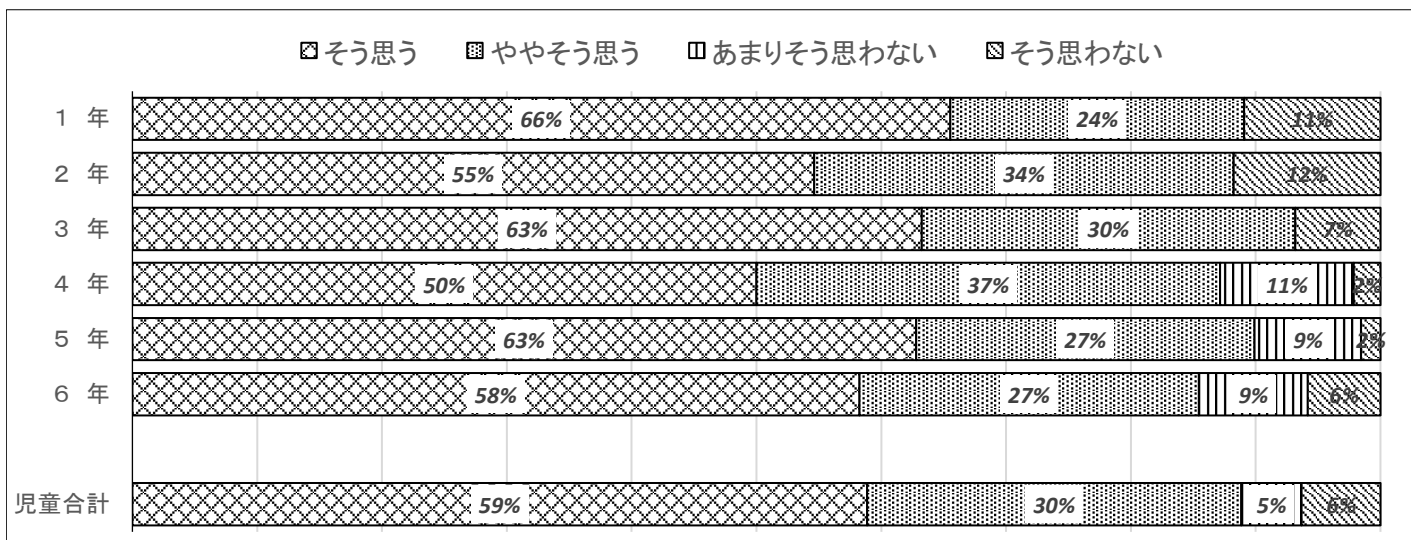


概ね肯定的に受け止めていただいている。保護者の期待に応えるべく、今後も努力を続けていきたい。

家庭・地域

【登下校での挨拶】

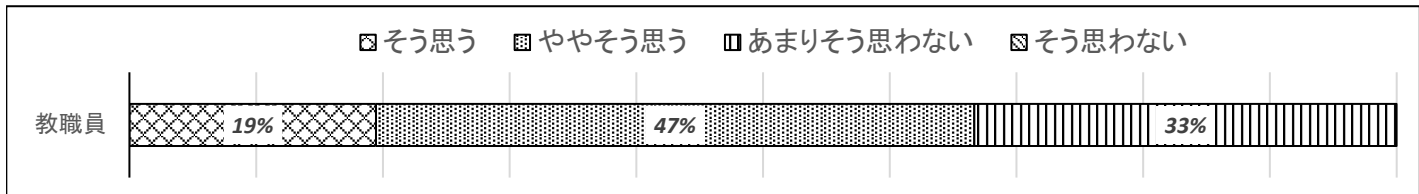
28 【児】 あなたは、登下校を見守ってくださっている人にあいさつをしていますか。



8割を超える児童が肯定的な回答をしているが、否定的な回答も2割近く存在する。学校運営協議会でも挨拶について課題として挙げられており、今後もあいさつの意義を伝え続けていきたい。

【安全な登下校】

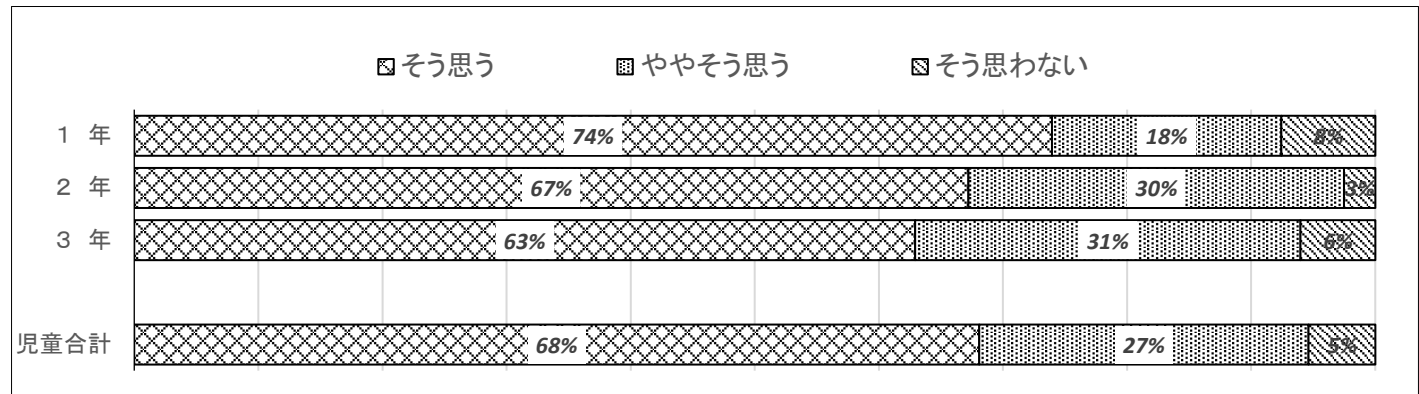
29 【職】児童は、安全で規律のある登下校をしていると思いますか。



全体指導、街頭指導、班長や特定の班を集めた指導を行っているが対処的なことが多い。児童が主体的に活動できることが理想であり、対処のみに終わらず、子どもたちが自ら考え判断できる指導を心がけたい。

【家庭での会話】

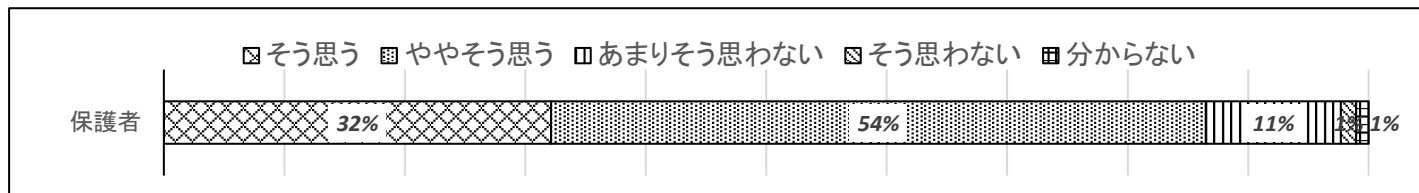
30 【児】あなたは、学校でのできごとや勉強のことを家の人によく話しますか。



低学年であっても家の人に話さない割合が一定数存在する。学校HPや学校だより、学年だよりだけでなく、保護者と密に連絡を取り、学校での様子を伝えていく必要がある。

【保護者の子どもの学習への関わり】

31 【保】あなたは、子どもの学習に関心を持ち、積極的にかかわっている。



子どもの学習に積極的に関わっていない家庭が昨年度と同様10%程度あることが分かる。子どもの教育における家庭教育の意義を様々な場面で伝えていく必要がある。

学校評価アンケート考察

学校は、まず安心安全な場であり、自分が大切にされていることが求められる。児童へのアンケート項目である「あなたは友達のことを大切にしていますか」「先生は、皆さんが困ったときに話を聞いてくれますか」について、ほとんどの児童が肯定的な回答をしている。これは、教職員が児童を適切に理解し、児童の思いに寄り添ってきた成果であると考えられる。ただし、保護者へのアンケート項目である「本校は、いじめのない楽しい学校・学級づくりに努めている」「本校の教職員は、子どもや保護者の相談を親身になって応じている」については、昨年度より肯定的な回答が減り、否定的な回答が増えている。保護者から厳しい目を向けられているといえる。これまでの取組で満足することなく、情報把握のためのアンテナを一層高くして、児童理解に努めていきたい。

また、学習の場において、児童一人一人が自分の能力をのびのび発揮し、それが認められる場であることも大切である。児童へのアンケート項目である「あなたは、めあてをもって勉強しようとしていますか」「先生の授業は分かりやすいですか」について、ほとんどの児童が肯定的な回答をしている。本校では、学ぶ主体としての児童を育む授業づくりの研究を進めてきた。昨年度は、奈小理研究大会の会場校となり、本年度は、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業研究を核に据えて研修を進めてきた。その成果が現れているといえる。ただ、保護者の回答では、学習内容についても昨年度と比べて肯定的な回答が減り、否定的な回答が増えている。教員は肯定的な回答が多く、教員の認識と保護者の受け取り方の乖離もみられる。これまで取り組んできたことを大切にしながら、保護者からの厳しいご意見を受け止め、日々学び続けることを忘れず、質の高い学びを提供していきたい。